

2024. 3.11

報道関係者 各位

<配信枚数 2 枚>

【立命館土曜講座のご案内】

2024 年 4 月のテーマ 「科学技術 (AI) と国際関係」

開催日程 : 2024 年 4 月 6 日(土) ・ 13 日(土)

開催方法 : ハイブリッド講座(対面・Zoom ウェビナー)

2024 年 4 月の立命館土曜講座は、立命館大学国際地域研究所の企画として、「科学技術 (AI) と国際関係」をテーマに、ハイブリッド形式(対面・Zoom ウェビナー)で開講いたします。

どなたでも無料で受講いただけますので、ご関心のある方のご参加をお待ちしております。

記

■立命館土曜講座 4 月テーマ「科学技術 (AI) と国際関係」

(1) AI の国際的なルールづくりに向けて

日時 : 2024 年 4 月 6 日(土) 10:00~11:30

ハイブリッド開催 会場:衣笠キャンパス末川記念会館 + Zoom ウェビナー

(2) 新興技術は国際政治に何をもたらすか—AI のケーススタディー

日時 : 2024 年 4 月 13 日(土) 10:00~11:30

ハイブリッド開催 会場:衣笠キャンパス末川記念会館 + Zoom ウェビナー

開催方法 : ハイブリッド講座(対面・Zoom ウェビナー)

内 容 : 別紙参照

聴 講 料 : 無料

定 員 : 衣笠キャンパス末川記念会館 180 人、Zoom ウェビナー 400 人

※実施前日 12:00 までに要事前申込。定員に達し次第、受付を終了。

申込方法 : 立命館土曜講座の WEB サイトよりお申し込みください。

<https://www.ritsumeikan.ac.jp/doyo/>

主 催 : 立命館大学衣笠総合研究機構

以上

本リリースの配布先: 京都大学記者クラブ、草津市政記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ

●内容についてのお問い合わせ先

立命館大学衣笠総合研究機構 担当:武田・堀

TEL.075-465-8224

別紙

■立命館土曜講座 4月テーマ「科学技術(AI)と国際関係」

(1)AIの国際的なルールづくりに向けて

日時：2024年4月6日(土) 10:00~11:30

講師：立命館大学国際関係学部 教授 川村 仁子

講師による内容紹介：

AIのような先端科学技術は、人類や社会が抱える問題を解決する希望となる可能性と人類や社会の脅威となる可能性の双方を有しています。それゆえ、先端科学技術ガバナンスでは、その研究・開発を妨げずいかに予想を超える被害をもたらさうリスクにいかに対応するかという、研究・開発の促進とリスク管理の両立が重要となります。また、先端科学技術は、国境を越える甚大な損害を引き起こすリスクを有することや、国際協力や官民パートナーシップによって研究・開発が行われること、先端科学技術を持てる国と持たざる国の格差への配慮が必要であること、全ての人類に影響を与える創造性と破壊性を併せ持つことなどの特徴を有するがゆえに、その国際的なガバナンスが求められます。

今回の土曜講座では、これまでの先端科学技術ガバナンスにおける原則を紹介した上で、AIのガバナンスをめぐる2つの潮流について概説し、特にAIについてのルールづくりを国家間で試みているEUのAI法案に焦点を当てながら、AIの国際的なルールづくりに向けた取り組みについて議論したいと思います。

(2)新興技術は国際政治に何をもたらすか—AIのケーススタディー—

日時：2024年4月13日(土) 10:00~11:30

講師：上智大学総合グローバル学部 准教授 齊藤 孝祐

講師による内容紹介：

今日の国際政治において、各国が「重要・新興技術」をいかに育て、守るかという問題に大きな関心を寄せるようになってきました。それは一方で、伝統的な軍事技術・産業技術の競争のようなかたちで展開されるという特徴を持っていますが、AIや量子情報といった新しい技術の登場によって、そもそも技術の「何を」「どこまで」規制しなければならないのか、ということ自体も問われるようになってきました。それと同時に、先端技術の開発が必ずしも国・政府の主導によってのみ行われるのではなく、広く民間セクターの技術開発能力に依存して、あるいは国をまたがって展開される側面が強くなっていることも大きな問題です。これによって、「誰が」技術を管理するのかという、いわゆる官民の関係を問い直すような政策課題も改めて生じています。

本講演では、とくにAIをめぐるトピックにふれながら、技術開発や規制のあり方をめぐって生じている今日的な国際政治上の摩擦について解説していきます。

■立命館土曜講座

1946年から続く、市民向けの無料公開講座。故・末川博名誉総長の「学問や科学は国民大衆の利益や人権を守るためにある。学問を通して人間をつくるのが大学であり、大衆とともに歩く、大衆とともに考える、大衆とともに学ぶことが重要」との思いのもとに、大学の講義を市民に広く開放し、大学と地域社会との結びつきを強めることを目指しています。

<WEBサイト> <https://www.ritsumeai.ac.jp/doyo/>